



狭くても引き出し 収納をしっかりと

大きな収納がとりにくい細長い敷地にも、深めの引き出しを設けて、収納量を確保。乾物や食器、生活の道具などを入れています。ダイニングからも手の届きやすい位置です。

**食卓からキッチンまで
ひとつつながり**
敷地わずか18坪。間口が細い土地に建つ小さな家……建築家の三戸淳さん、美代子さんの自宅です。美代子さんは食器やインテリア雑貨が好きで、淳さんはパンづくりの様子をブログに書くほどの腕前。サッカー好きの息子は食べ盛り。自然、家族の暮らしはキッチンが中心になります。
限られた広さの中で、お茶の間のような居間、テーブルで食事をするダイニング、立って作業するキッチン、それぞれの空間を十分に確保するのは難しい……そこで三戸さんは細い空間に3つの段差を設け、長いステンレスでつなぎ、一体感をもたせました。

好きなところに 座ろうよ！

床の段差を18cm、36cmと2つつけることで、ひと続きのステンレスのテーブルが、食卓にもキッチンのワークトップにも対応。どこにいても、家族の視線がそろいます。
また、素材をステンレスと木の2つに絞ったことで、狭い空間がすっきりと心地いい空間になりました。



オープンが心地いい シナ合板のシンプルな棚

インテリア雑貨が大好きな美代子さんの世界観がそのまま表現されたような、オープンな棚。窓を上手に切り抜いて、光と風の通り道をつくっています。飾りたいものだけではなく、普段使う食器もそのままここに。



細長い敷地でも大丈夫！ 階段みたいなストレートキッチン

東京都・三戸邸
設計=三戸淳+三戸美代子/ココアデザイン
キッチン製作=タニコ
家族構成=夫婦+子供1人



狭くても引き出し 収納をしっかりと

座る食卓、椅子に腰かけるテーブル、立って使うキッチンの3つの動線がひとつに。オレンジのジュースを絞っている三戸さん。体重をかける作業はテーブルの位置がベストポイント。

誤			正		
頁	場所	内容	頁	場所	内容
24	右下 キャプション	強化樹脂であるポリカーボネイトを使った扉。内部の照明の光を柔らかく広げる効果も。	24	右下 キャプション	水栓の根本からシンク側にレバーがあり、水だれもシンクに落ちるグローエ社の水栓。先はシャワーヘッドになっている。
25	左下 キャプション	半透明の樹脂で軽やかに強化樹脂であるポリカーボネイトを使った扉。内部の照明の光を柔らかく広げる効果も。	25	左下 キャプション	こんなところも、小さな引出しにシンク前のデッドスペースを側面からの4段のミニ引出しに。薬や文房具などキッチンとは違う生活雑貨を収納。
43	上真中 キャプション	壁側のキッチンカウンターはそのまま伸びてSOHOのデスクトップに。カウンターが多くの役割を兼ねることでリビングの空間を広く使えます。ちよつとした家事にも。	43	左上真中 キャプション	家族で毎日使う食器一式とお鍋はコンロ下の引き出しに。鍋から料理を盛るときも、食器洗い機からしまう時も便利な位置。
93	左下 キャプション	60㎡のマンションリフォーム。限られた広さの中。寝室、リビング、ダイニングをキッチン家具で仕切ります。調理スペースのせまさも、加熱部をIHとガスの2口に分けることで解決しました。	93	左下 キャプション	機能的なステンレスのキッチンと、くつろぎのダイニングをゆるやかにゾーニング。棚に並べた器類が、空間に彩りを添えています。キッチン下の収納には木箱などを上手に使い、ナチュラルな空気感をプラス。
110	下真中 キャプション	家電置き場のオープンからバンを出し、調理スペースでサンドイッチに。コンロ側ではスープを調理。ほとんど動かずに料理できる。	110	下真中 キャプション	幅900mmの広めのステンレスシンク。ステンレスプレートを折り曲げた特注の水切りを内側にセット可能。